

令和6年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) 清心緑が丘認定こども園

観点	③自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	・ 一人ひとりが発言する場(機会)が少ない。 ・ 異年齢クラス(3・4歳児)を経験して、5歳児クラスに進級する。 ・ 行事に向けて、クラスごとにいろいろな活動を行う。 (園行事・月行事) ・ 特定の友だちとグループになり遊ぶことが多く、関わりが広がらないことが課題。
目標	・ 自信をもって、自己表現ができるようになる。 ・ 友だちと一緒に取り組む楽しさを味わう。 ・ 困っている友だちに声を掛け、助けようとする気持ちが育つ。
目標達成に向けた具体的な取組内容	・ クラス内での当番活動や発表できる機会を増やす。 ・ クラス内での困ったことは、みんなで話し合える場をもつ。 ・ それぞれの行事に向けて活動する際、他クラスや友だちの姿を認め応援する気持ちを育てる。 ・ ペア活動やグループ活動で友だちを知り、お互い助け合う機会を作る。
成果	・ 朝の会や終わりの会の発表を積み重ねることで、人前での発言が恥ずかしくなくなり、自分の思っていることを言葉で伝えられるようになった。 ・ 終わりの会の発表で、一日の良かったことを友だちと伝え合う「いいところめがね」の取組を続けることで、友だちの良い所を見つける習慣がついてきている。また、友だちの良い所を伝えることで、お互い嬉しい気持ちになることに気付くようになった。 ・ 異年齢で交流することで、手伝いや世話を進んで行うようになった。 ・ 友だちと相談したり、自分で考えたりして行動できるようになった。
評価	クラス内の困ったことをみんなで話し合う場を意図的に設けることや朝の会や終わりの会で、発言する機会を作ることなどの具体的な実践の積み重ねで、子どもたちが自信を持って発言する力を育てている。また、「いいところめがね」の実践では、脳の扁桃体の危機管理の仕組み(原則、人の脳はマイナス面が目に入る)に逆らうべく、友だちの「良い所」に目が向けられるように工夫している。このような日々の実践を通して、子どもたちの「自尊感情」を高める取り組みが継続されている。